



# 社会科学研究部報

令和7年6月18日

浜松市教育研究会 社会科学研究部

## 令和7年度 第1回 小学校社会科学研究部 研修会

5月21日（水）に天竜壬生ホールにて、浜松市博物館指導主事より社会科の実践について講話をいただきました。

### 1 顧問校長あいさつ

今年度の研修会の多くは天竜地区で行われる。自然豊かな土地で社会科の知見を深めてほしい。

授業に関しては、個別最適な学びを実現させるために「子どもに委ねる勇氣」を教師がもつことが重要であると考えます。そのためには、教師の意識を変えていく必要がある。子どもたちが社会的事象を楽しみ、自ら学び続けることができるように、研修を通して社会科の力が身に付けてほしい。



### 2 部長あいさつ

市教研の部長研修会で「対話と内省」について話があった。「対話」とは、参加者相互がその研修内容について語り合うことである。「内省」とは、参加者一人一人がその日の学びを振り返ることである。今年度、社会科の研修会でも「対話と内省」を大切にしていこう。

本日の研修テーマは「地域を知る手がかり」である。私たちは、歴史家でも郷土史家でもなく社会科教員であるが、地域を知ることによって授業の質を向上させることができるだろう。教師が、地域についての知識、また地域に根差した資料や教材をもっていることが、子どもたちの社会的な見方・考え方を働かせたり、授業への意欲を高めたりすることにつながると考える。



### 3 講話「地域を知る手がかり」

地域を知る手がかりとして「地理的な特徴」や「人の歴史や生活の営み」がある。例えば、各時代の遺跡や出土品の位置を調べることで、当時の人々の生活拠点が分かる。また、当時の海面の高さや地図などの情報からも、時代によって人々の生活拠点が変化していることが分かる。

子どもたちが地域を知ることによって、より学習内容と実生活が結びつき、浜松に愛着や興味をもてると考える。それぞれの学校周辺の遺跡や残されている史料等から当時の様子を知り、授業でぜひ活用してほしい。

浜松市博物館指導主事



浜松市文化財課

令和7年2月、子どもたちが浜松市の無形民俗文化財（民俗芸能）に興味をもつきっかけとなるよう、「こども向け無形民俗文化財紹介動画」を制作し、公開した。「入門・紹介編」と「発展・継承編」の2本の動画を作成し、授業前の下調べとして教員が利用できる「教員用資料」も公開している。また、4年生の社会科学学習ノートにQRコードも掲載した。ぜひ、学習に活用してほしい。

